

平成25年度事業活動の概要報告

昭和32年に設立された財団法人神戸大学六甲台後援会は、平成23年度より、公益財団法人神戸大学六甲台後援会として新たな歩みを始めました。当財団の平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成26年6月2日に開催された理事会および6月24日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1)学術交流促進・研究成果公開助成事業（学術交流の促進と研究成果の公開に係る助成事業）、(2)教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3)学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という、当財団が行う主要な事業別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せてご報告させていただきます。

平成25年度では、学術交流の促進と研究成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、海外研究者との学術交流施設として運用しているロイ・スミス館（国登録有形文化財）の修復・整備を神戸市の助成を得て行いました。また、公益財団法人として発足後初めての理事の任期満了をむかえ、発足時の理事8名のうち、6名の再任、2名の退任、1名の補充を行いました。これに伴い、理事長の交替があり、平成25年6月25日付けで、新野幸次郎理事長が退任し、新たに高崎正弘理事が理事長に就任いたしました。

なお、平成26年度に入ってから行事となりますが、本年5月17日（土）に、神戸大学の前身である官立神戸高等商業学校の初代校長として、本学の礎を築かれた水島鎮也先生の生誕150年記念事業を、生誕の地である大分県中津市において、神戸大学主催、凌霜会および本財団の後援により行われました。

当日は、神戸大学への進学相談会が終日実施されるとともに、午後からは、福田秀樹神戸大学長の挨拶、新貝正勝中津市長の来賓ご挨拶、井上典之神戸大学理事による大学紹介があり、続いて、本財団の前理事長であり、神戸大学の元学長でもある新野幸次郎先生より、「中津の偉人水島鎮也先生と神戸大学」と題された記念講演会が行われました。

今後とも、本財団に対して従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

I 事業報告の概要

(金額は千円未満四捨五入)

- 1 学術交流促進・学術成果公開助成事業 (ただし、付帯経費を除く) 23,713 千円
- 1 - 1 学術交流の促進 20,613 千円
- (1) 海外研究活動支援 (海外研究活動や海外学会派遣等への助成) . . . 18,768 千円
- 経済学研究科 (3,848 千円)
- ・吉井昌彦教授 (平成25年6月、韓国)
地主敏樹教授
勇山和史教授
目的：神戸大学経済学研究科・漢陽大学校共同研究発表会出席のため
 - ・前田裕子准教授 (平成25年8月～平成25年9月、ドイツ)
目的：白井直治と明治期日本の産業技術導入に関する研究
 - ・丸山佐和子准教授 (平成25年8月～平成25年9月、スウェーデン)
目的：グローバル化が中小企業に与える影響に関する研究
 - ・芦谷政浩教授 (平成25年7月～平成25年9月、スペイン)
目的：PIIGS(欧州の経済不振国グループ)の経済危機への対応が経済予測分析に及ぼす影響についての研究
- 経営学研究科 (5,289 千円)
- ・内田浩史教授 (平成25年6月、ルクセンブルクシティ)
目的：企業間信用に対する実物取引の制約に関する研究発表
 - ・馬 岩 准教授 (平成25年6月、中国)
目的：「直接対外投資とカーボン国境税調整」に関する研究報告
 - ・北川教央准教授 (平成25年8月～平成26年7月、アメリカ合衆国)
目的：利益の品質決定要因と経済的帰結に関する実証研究
 - ・忽那憲治教授 (平成25年8月～平成25年9月、カナダ)
目的：ベンチャーキャピタルのレビューテーションと投資行動の関連性に関する実証研究
- 法学研究科 (4,650 千円)
- ・藤村直史准教授 (平成26年3月～平成26年9月、アメリカ合衆国)
目的：立法組織と議員行動の比較研究
 - ・角松生史教授 (平成25年8月～平成25年9月、ドイツ)
目的：縮小都市時代の都市空間ガバナンス
 - ・興津征雄准教授 (平成25年8月～平成25年9月、アメリカ合衆国)
目的：グローバル化時代の都市法及び行政法の比較研究
- 国際協力研究科 (1,900 千円)

- ・小川啓一教授（平成25年9月～平成25年10月、アメリカ合衆国）
目的：人的資源開発と経済発展に関する研究
- ・山崎幸治教授（平成25年9月～平成25年12月、平成26年3月、インド）
目的：インドにおける経済成長と多面的貧困削減の実態及び地域間・階層間格差に関する実証分析

○経済経営研究所 (2,800千円)

- ・ベーベンロートラルフ教授（平成25年4月～平成25年9月、ドイツ）

目的：国際経営に関する研究

- ・濱口伸明教授（平成25年6月、韓国）

藩 俊毅准教授

柴本昌彦講師

目的：第11回共同研究発表会

- ・趙 来勲教授（平成26年3月～平成26年7月、アメリカ合衆国）

目的：都市の形成と格差の変化に関する研究

○外国人研究者招聘 (281千円)

- ・Steve Evans オーストラリアフリンダース大学上級講師（平成25年7月）

招聘部局：経営学研究科

(2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・1,845千円

○経営学研究科 (45千円)

- ・第7回地域金融カンファレンス開催助成

（平成25年11月17日～18日、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ、参加者 金融機関に関わる研究者及び実務者）

○経済経営研究所 (200千円)

- ・「バブル・金融危機」シンポジウム・ワークショップ・研究会開催助成

テーマ：「バブル的現象としてのデフレ・円高・財政危機」

期 間：平成25年5月1日～26年3月31日

講演者： 浜田宏一 イェール大学名誉教授 他

参加者： ワorkshop、研究会 研究者・大学院生 シンポジウム 一般50名

- ・Workshop on :Offshoring, the Environment and Industrial Policy にかかる海外招聘旅費助成（平成26年1月16日～1月19日、聴講者15名）

○社会科学系教育研究府 (1,600千円)

- ・ユニット活動(セミナー)開催支援費

社会科学系教育研究府1周年記念シンポジウム他

テーマ：「グローバル社会で活躍するための条件」

（平成25年5月23日、出光佐三記念六甲台講堂 参加者200名）

1 - 2 学術成果の公開 **3,100 千円**

(1) 学術研究成果刊行支援（学術研究成果刊行への助成） 3,100 千円

○経済学研究科 (2,000 千円)

- ・鈴木 純著『経済システムの多元性と組織・制度・社会』（株）勁草書房
- ・中村 保著『所得格差のマクロ経済分析』（株）勁草書房

○国際協力研究科 (1,100 千円)

- ・柴田明徳著『生物多様性の危機に対する国際的体制について：名古屋・クアラルンプール補足議定書より』オックスフォード大学出版部
- ・木村 幹著『韓国における権威主義的体制の成立』（韓国語版）J & C 出版

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業（ただし、付帯経費を除く） **15,742 千円**

2 - 1 教育の充実 **15,217 千円**

(1) 社会科学特別奨励賞 7,837 千円

（経済学部・経営学部・法学部の学部学生（2年生～4年生）、及び経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生（博士課程前期課程2年（法学研究科にあつては専門職学位課程を含む）の成績最優秀者への奨学金支給）

(2) 社会科学特別奨励賞 4,013 千円

（経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生（博士課程後期課程）の海外研究活動支援）

(3) 相互履修科目開講支援 1,120 千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部：エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

(4) 久研究奨学基金による学生の海外研究旅費支給（1名） 524 千円

(5) 凌霜研究奨学基金による学生への支援（3件） 600 千円

(6) 大学院学生に対する支援 1,123 千円

○法学研究科 (1,123 千円)

- ・大学院学生の海外研究活動支援（3名）

- ・院生のエクスターンショップ実施経費

2 - 2 学術基盤の整備 **525 千円**

(1) 社会科学系図書館 中山画伯油彩画修復助成 525 千円

3 学術交流施設維持管理事業 **952 千円**

(1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理 952 千円